

# 決算特別委員会の概要



令和6年度の決算認定議案は、9月定例会において決算特別委員会に付託されました。同委員会は9月30日から10月3日までの4日間で開催され、一般会計決算の認定他16件の審査を行いました。

## ―委員長報告より―

本市では、厳しい社会情勢の中、三原市版子ども・子育て支援や、安心・安全に向けた積極投資による災害対応力の強化、行政運営の効率化を図るデジタル化推進事業などが実施されました。

## 議88 一般会計歳入歳出決算の認定

### 【主な質疑】

#### 社会福祉支援事業

**問** 欠員が生じている民生委員・児童委員の状況及び民生委員を補佐する民生委員協力員の状況はどうか。

**答** 令和7年9月現在の民生委員・児童委員は15人が欠員であるが、13人の民生委員経験者等が協力員として着任し、活動をサポートしている。

#### 清掃一般事務事業

**問** ごみの減量化に対する市の考え方や取組内容を問う。

**答** 一般廃棄物処理基本計画に基づき、燃やすごみの中に含まれる、いわゆる「手つかず食品」を減ら



内港の一角

す取組として、家庭で余った食品の寄付を受けるフードドライブ事業を開始した。

#### 観光施設維持管理事業

**問** 指定管理者が管理運営している、すなわち海浜公園の収支状況はどうなっているか。

**答** 施設の主な収入は、指定管理料とイベント収入である。物価高騰の影響を受けたことによる施設の維持管理費の上昇や人件費の増加により、収支は約120万円の赤字との報告を受けている。

#### 港湾改良事業

**問** 県施行事業負担金のうち、内港地区（県単独事業）の総事業費と市の負担額の詳細を問う。

**答** 総事業費の負担額12億円は、基本計画の内容を踏まえ、他の工事実績の負担状況をもとに市が独自に試算したものである。市の負担軽減のため、補助金等の活用も検討している。

#### 自主防災活動推進事業

**問** 自主防災組織と関係機関との連携状況や自主防災組織の活動状況を問う。

**答** 防災訓練を実施する際、市職員による「災害の備え」に関する講演や、消防職員・消防団による救急救命講習、水消火器訓練を併せて行うなど、関係機関との連携に努めている。



## 議94 国民健康保険（事業勘定）特別会計の認定

**問** 国民健康保険税率の大幅な引き上げや当初の予算額と決算額が大きく乖離した理由は何か。

**答** 被保険者の負担軽減のため、基金の取り崩しを財源にして、県

が示す標準保険料率より低い税率を維持してきたが、標準保険料率が大幅に引き上げられたため、一定程度引き上げざるをえなかった。予算額と決算額の約10億円の差は、医療費が見込みほど伸びず、不用額が発生したためである。

**【反対討論】** 議第94号について物価高騰の影響で市民生活が困窮していること、また、本市は、全基金の総合計が過去最高の164億円であるにもかかわらず、基準外繰入れを行わず、保険料を増額することは、加入者に負担を強いることになるから、反対する。

**【賛成討論】** 公共施設の長寿命化、道路・橋梁・河川の維持管理など、安全・安心のまちづくりを推進するとともに、こども計画の策定や第2子以降の保育料無償化など、少子化対策にも力を入れた。一般会計、特別会計とも赤字はなく、住民サービス向上に努めた決算として評価し、全ての議案について賛成する。

**【採決】** 議第88・94・96号は賛成多数をもって、残余の14件は、全員一致により、各決算は認定すべきものと決した。